

令和2年度 多職種連携研修会 <浦添市介護支援専門員従事者研修>

新型コロナウイルス感染症に伴う医療・介護連携に関するアンケート
結果報告



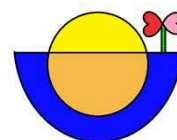
浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー



1

1

前回の振り返り…



令和元年度 多職種連携研修会 <介護支援専門員従事者研修>

令和元年11月28日（木） アイムユニバース てだこホール市民交流室

「入退院支援について」

～利用者・家族が安心・安全に入退院できるように私達ができること～

<グループワークの内容&アンケート結果の概要報告>

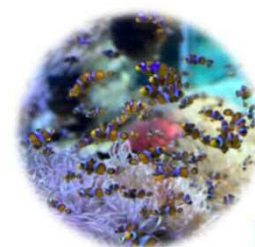
2

2

【グループワークの内容（A～Kの11グループ）】

テーマ：「利用者・家族が安心・安全に入退院できるように私達ができること」

- 病院へ連携シートを送付しますが、こういった内容があれば役に立つのでしょうか？
- 他職種で病院に入院中に、在宅サービスメンバーもラウンドして利用者の情報を共有する。
- 病棟ナースと相談員（ケアマネ）の連携 → 相談窓口と人がわかると支援しやすい。
- 入退院連携のガイドライン。（浦添市版作成）
- 病院スタッフ（Ns、PT、OT等）の介護保険勉強会とか？



3

3

【アンケート結果の内容】

1. 今回の研修会の内容はいかがでしたか。

- ◆ 病院の取り組みと課題を知れた。病院の動きが知れてよかった。今後役立つと思う。
- ◆ 各職種の思いや考えを改めてしることができた。顔の見える関係づくりが必要だと思った。
- ◆ 役割を知ること、理解することが連携につながると思う。

2. 沖縄版の連携シートはありますが、浦添版の連携シートは必要ですか。

- ◆ 浦添市全体で共有できるツールがあると便利そう。
- ◆ たくさんシートがあると混乱する。既存のものを活用していいものにしていくほうが良いと思う。
- ◆ おきなわ津梁ネットワーク（ICT）を活用できればありがたい。

3. 今回の研修で学んだことが今後の仕事に活かそうですか。

- ◆ 連携しているつもりだったが、できていない・足りない部分に気づけた。
- ◆ 情報は躊躇なく共有し、共感や協力をしていきたい。
- ◆ 早め早めに情報共有する。入院時から退院支援は始まっている。

4. その他、ご意見等。

- ◆ 保険証、介護手帳、お薬手帳、ケアマネ名刺が1つのケースに入っていたらより分かりやすい。
- ◆ 地域住民にも周知啓発する活動はとても必要だと思いました。

4

4

ここからが本題

令和2年度 浦添市在宅医療・介護連携推進事業 新型コロナウイルス感染症に伴う医療・介護連携に関するアンケート 〈結果報告〉



5

5

【目 的】

新型コロナウイルス感染症が医療と介護の連携にどのような影響を及ぼしているのか、地域の課題を把握し、対策等を検討することを目的とする。



6

6

【介護側】

◆ 対象事業所：（令和2年6月現在）

- ・浦添市内居宅介護支援事業所（26カ所）
- ・浦添市地域包括支援センター（5カ所）



◆ 実施期間：令和2年6月12日～6月26日

◆ 回答事業所：22事業所/31事業所（回答率71%）

<居宅：18事業所（69%）、包括：4事業所（80%）>

※問1の質問内容の集計。（回答者の所属先）

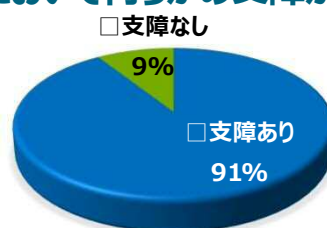
7

7

【利用者の生活に関して】

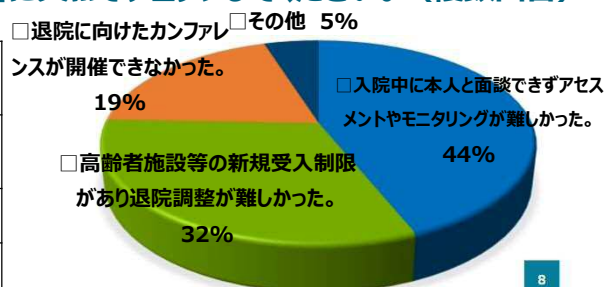
問2-1. 新型コロナの影響で、医療との連携において何らかの支障がありましたか。

<input type="checkbox"/> 支障あり	20
<input type="checkbox"/> 支障なし	2



問2-2. 支障ありと答えた方へ、該当する項目にレ点でチェックしてください。（複数回答）

<input type="checkbox"/> 入院中に本人と面談できずアセスメントやモニタリングが難しかった。	18
<input type="checkbox"/> 高齢者施設等の新規受入制限があり退院調整が難しかった。	13
<input type="checkbox"/> 退院に向けたカンファレンスが開催できなかった。	8
<input type="checkbox"/> その他	2



8

8

【利用者の生活に関して】

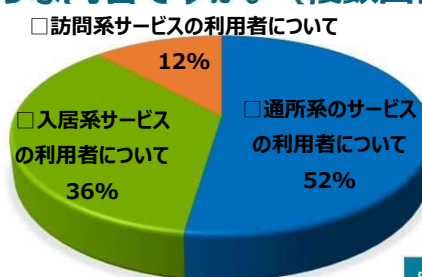
問3-1. 新型コロナの影響で、サービスの休止や利用控え等により、利用者の生活に支障がありましたか。

□支障あり	22
□支障なし	0



問3-2. 支障ありと答えた方へ、具体的にどのような内容ですか。(複数回答)

□通所系サービスの利用者について	22
□入居系サービスの利用者について	15
□訪問系サービスの利用者について	5



9

問3-2. 具体的な内容

【通所系サービスの利用者について】

<心身機能、活動意欲の低下、家族の介護負担の増加>

- 家族や本人自らサービスの利用を控えたり、サービス事業所の休止により利用者のADLの低下や精神面での不安定さが見られた。また、介護者（家族）の負担軽減がとれなかった。（居宅）
- 活動量が減って家族の心配が増えた。サービス利用を休んでいたため別に住む家族が頻繁に訪問し、家族が大変だった。本人にとって筋力が落ちたとの自覚があった。（包括）

<サービス利用への影響>

- 通所の利用制限や休止により、他事業所への振替調整を行い、その影響でリハビリ量が減少。また、本人や家族が感染を心配して、サービス利用を自粛していた。（居宅）
- 自粛生活によりサービスの利用を控えたり、事業所が閉鎖され、サービスの調整ができなかった。（包括）

<その他>

- 統合失調症の診断を受けている利用者が、新型コロナの理解が不十分で遊技場へ出向いており、他利用者がその行動に不安を持ち、利用参加を拒み入浴ができない利用者がいた。（居宅）

10

問3-2. 具体的な内容

【入居系サービスの利用者について】

<面会制限・禁止>

- 外出や家族との面談ができず、利用者のストレス増による精神的な落ち込みや認知症状の悪化。また、利用者との面談ができず、アセスメント・モニタリングが難しい。(居宅・包括)

<ショートステイの利用制限・新規受け入れの制限>

- ショートステイが休業となり、定期的に利用していた家族の介護負担が増えた。また、入居の制限や新規の相談を受け付けてもらえなかった。(居宅)

<その他>

- 状態変化を家族に知らせない事業所があった。また、在宅訪問マッサージが有料老人ホームへ入れなくなり、関節拘縮の進行がみられる。(居宅)

11

11

問3-2. 具体的な内容

【訪問系サービスの利用者について】

<心身機能、活動意欲の低下>

- 在宅訪問マッサージが入れず身体の痛み増になった。(居宅)
- 体力低下で転倒した。(包括)

<サービス利用への影響>

- ご家族より訪問拒否あり。感染防止策(受入れる判断基準)の違いが事業所ごとに異なった。(居宅)

<その他>

- ヘルパーと一緒に掃除することができなくなり、浴室などの水回りが大変だったと話あり。(居宅)

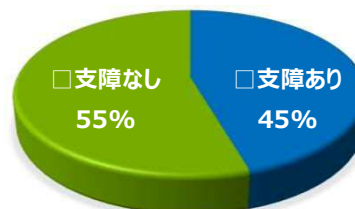
12

12

【利用者の生活に関して】

問4-1. 問3以外に、新型コロナの影響で利用者の生活に支障がありましたか。

<input type="checkbox"/> 支障あり	10
<input type="checkbox"/> 支障なし	12



問4-2. 支障ありと答えた方へ、具体的にどのような内容ですか。

＜心身機能、活動意欲の低下、家族の介護負担の増加＞

- 通所サービス事業所の変更や、サービスを自粛することで生活のリズムが変わった。また、家族の負担が増えて在宅維持が難しいと考えるケースがあった。(居宅)
- とじこもりの生活で、認知機能の低下、体力の低下、転倒があり、家族の介護負担が増加した。いつも気にして声かけ、促ししないといけなくなった。(包括)

13

13

【利用者の生活に関して】

問4-2. 続き…

＜サービス利用への影響＞

- コロナの影響で不況になる予測から、サービスを本人・家族が制限している不安がある。また、県外に住む家族が来沖できず、入退院の支援が受けられなかった。(ケアマネが代行) (居宅)

＜その他＞

- 定期の病院受診を控えたり、買い物に行くことを自粛したりと通常の生活において支障があった。(居宅)
- 家での閉じこもり生活により退屈し、自治会活動ができなかった。また、地域活動もストップし行き場がなくなった。(包括)

14

14

【業務に関して】

問5. 新型コロナウイルス感染症防止対策で利用者の自粛生活が続いたことについて、貴事業所が取り組んだことがございましたらご記入下さい。

＜電話連絡・ビデオ通話＞

- 電話やビデオ通話による感染症防止策の周知、体調確認。LINEでの会議。
- 代替による薬の受け取りや主治医への健康状態について報告。

＜独居や老夫婦世帯への支援強化＞

- 独居生活や老夫婦世帯の生活状況の確認を強化した。

＜勤務体制の見直し＞

- 時差出勤、テレワークでなるべく接触しないようにした。

15

15

【業務に関して】

問5. 続き…

＜感染防止の取り組み＞

- サービス調整、事業所の変更対応を実施。面談時の感染予防対策と3密をさける工夫を実施。マスク、手洗い、消毒の徹底化。
- プランチェック等は外で対応、メール対応、ケース訪問の際は、うつさない、うつらないを合言葉に合同での訪問。

＜介護予防普及啓発・マスク配布の取り組み＞

- 地域活動の休止や介護保険サービスの利用を自粛している方に対して、介護予防普及啓発の取り組みとして、自宅のできる運動の資料やマスクの郵送を実施。

＜その他＞

- 訪問可能であれば、訪問してのモニタリングを行い、本人、家族の不安な気持ちを傾聴した。TELでも同様に行った。

16

16

【業務に関して】

問6. 貴事業所で取り組んでいる新型コロナ感染症の防止・予防対策について工夫していることや困っていることがありましたらご記入ください。

＜感染予防対策＞

- 基本的な手洗い、うがい、マスク着用、アルコールによる手指消毒、器具は、次亜塩素酸で拭き消毒。事業所内は各テーブルをビニールで隔離し飛沫を防ぐ。
- 法人内でグループラインを作り情報の共有を行った。
- 相談がかさならないよう予約制にし、訪問時間が短くなる工夫等を実施。

＜困ったこと＞

- 新規受け入れ時、病院や施設での面談ができず困っている。
- 在宅ワークやリモート会議ができない。
- マスクの確保と消毒液の確保に苦心した。

＜その他＞

- 職員のテレワークを試験的に実施。コロナに関する臨時的な取り扱いを取り決め、文例を作成した。新型コロナ対策委員会の立ち上げ。

17

17

【業務に関して】

問7. 貴事業所において新型コロナ感染防止に関連する運営上の問題がありましたら、ご記入ください。

＜業務上の問題＞

- 利用者から感染防止の為に、マスク・手洗い・フェイスシールド着用でのケアを希望され対応に困っている。
- リモート会議がうまくできなかった。
- 地域の人々との会議がなくなって、情報支援の場がない。外出自粛期間中、総合相談が減って実態把握ができない。

＜経営上の問題＞

- 感染予防対策の消耗品の経費、入手ができない。
- 利用者のサービス自粛に伴い、利用料金減となる。

＜その他＞

- 事業所内クラスターになった場合、だれが支援するのか。
- 職員間のコミュニケーションが少なくなった。

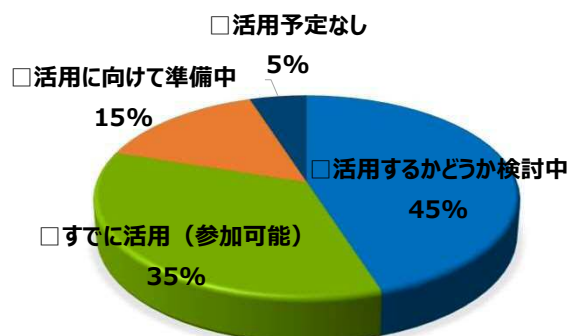
18

18

【業務に関して】

問8. 今後、在宅医療・介護関係者の多職種研修をWeb等を活用し開催予定です。貴職場のネット環境についてお聞かせ下さい。最も近いものを1つ選んで下さい。

<input type="checkbox"/> 活用するかどうか検討中	9
<input type="checkbox"/> すでに活用中（参加可能）	7
<input type="checkbox"/> 活用に向けて準備中	3
<input type="checkbox"/> 活用予定なし	1



19

19

【医療側】

◆ 対象事業所：

- ・浦添市内の医療機関（8機関）
（病院、介護医療院、介護療養型医療施設）



◆ 実施期間：令和2年7月6日～8月14日

◆ 回答事業所：6機関/8機関（回答率75%）

20

20

問1. 貴医療機関（病院機能）をご記入ください。（複数回答）

病院機能 <回答総数：6件（複数回答）>



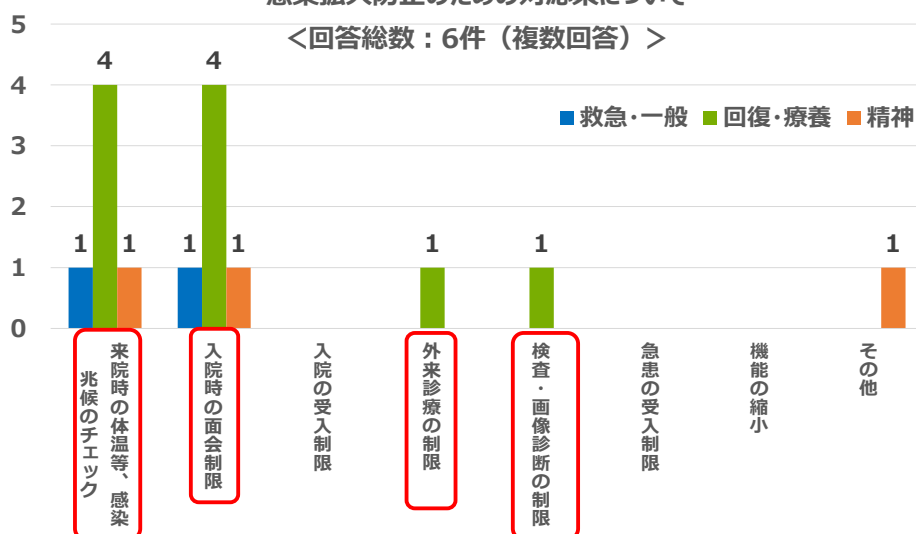
21

21

問2. 貴院で行っている新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応策についてご記入ください。（複数回答）

感染拡大防止のための対応策について

<回答総数：6件（複数回答）>



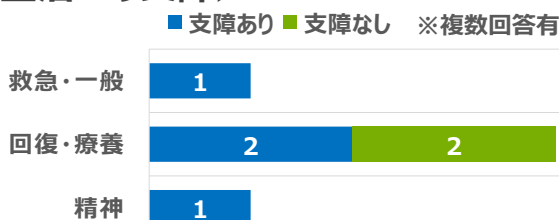
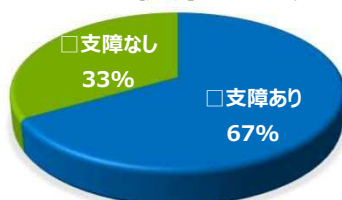
22

22

問3-1. 新型コロナ感染拡大によるクライアントの健康管理や療養生活に何らかの支障がありましたか。

<健康管理や療養生活への支障>

<input type="checkbox"/> 支障あり	4
<input type="checkbox"/> 支障なし	2



問3-2. 支障ありと答えた方へ、具体的な内容についてご記入ください。

<救急・一般>

- 面会制限があり、本人、ご家族の不安があった。

<回復・療養>

- イベントの縮小、地域交流の中止（保育園との交流）、面会制限。

<精神>

- 入院患者さんの面会制限、外泊時も極力外出は控えてご自宅で過ごして頂く。
- 病院近隣の大型商業施設への外出も自粛して頂く。

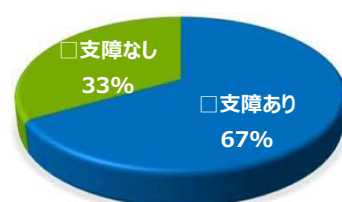
23

23

問4-1. 新型コロナの影響で、入退院支援業務（介護との連携など）に何らかの支障ありましたか。

<入退院支援業務（介護との連携など）への支障>

<input type="checkbox"/> 支障あり	4
<input type="checkbox"/> 支障なし	2



問4-2. 支障ありと答えた方へ、具体的な内容についてご記入ください。

<救急・一般>

- ケアマネジャーの来院制限があり、介護支援連携機会がかなり減った。
- 退院先の受け入れ制限。

<回復・療養>

- 受け入れがどうしても慎重になる。退院先の受け入れ制限。

<精神>

- 施設見学や体験参加などの制限がある為、退院促進が進みにくく、退院までに時間を要する状況。
- 病床に外部者が入れない為、介護認定調査を延期してもらう場合もある。

24

24

問5-1. 新型コロナ感染の影響で終末期のアドバンス・ケア・プランニング（ACP）に何らかの支障がありましたか。

<アドバンス・ケア・プランニング（ACP）への支障>



問5-2. 支障ありと答えた方へ、具体的な内容についてご記入ください。

<救急・一般>

- 退院が決定していた患者の退院が延期となった。

<回復・療養>

- 面会が制限になった。（時間の制限・スキンシップ制限・18歳以下面会制限）

25

25

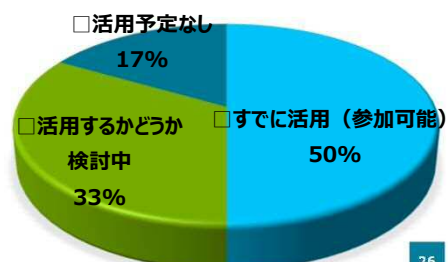
問6. 救急病院にお尋ねします。新型コロナ感染の影響で救急受入時の対応（介護との連携など）に何かしらの支障がありましたか。

<支障あり> ※1医療機関の回答

- 面会・面談の制限。
- 治療終了後の受け入れ側の制限あり。
- 入院期間延長。

問7. 今後、在宅医療・介護関係者の多職種研修をWeb等を活用し開催予定です。貴職場のネット環境についてお聞かせ下さい。最も近いものを1つ選んで下さい。

<input type="checkbox"/> すでに活用中（参加可能）	3
<input type="checkbox"/> 活用するかどうか検討中	2
<input type="checkbox"/> 活用予定なし	1
<input type="checkbox"/> 活用に向けて準備中	0



26

26

まとめ 1

【介護側】

＜利用者の生活に関して＞

- 入退院調整について、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた連携が必要。
- 通所系では、利用控えやサービス休止の影響で、利用者のADLの低下、家族の介護負担増、精神面・認知機能への影響があった。
- 訪問系では、ご家族より訪問の拒否等により、サービスが入れず身体の痛み増や体力低下で転倒した等の影響があった。
- 入所系では、家族の面会制限、アセスメント・モニタリングの制限、ショートステイの休止による家族の負担増等の問題があった。
- 地域活動がなくなり居場所がなくなった等の声もあった。

27

27

まとめ 2

【介護側】

＜業務に関して＞

- 新規受け入れ時に、病院や施設での面談ができず困っている、総合相談が減って実態把握ができない等の影響があった。
- 感染防止用の資材の入手が困難との声もあった為、感染防止用の資材の提供や調達方法、感染防止対策についての情報提供などが必要である。
- 今後の第3波に備え、インターネット環境を整え、テレビ電話、リモート会議等の活用促進が求められる。

＜その他＞

- 家族や利用者へ新型コロナウイルス感染症についての啓発、感染防止対策等の周知も必要である。

28

28

まとめ1 【医療側】

＜新型コロナ感染拡大防止の為の対策＞

- 回答したすべての医療機関で「来院時の体温、感染兆候のチェック」や「入院時の面会制限」の対策を実施している。

＜クライアントの健康管理や療養生活＞

- 院内の面会制限やイベントの縮小、地域交流の中止などで、入院患者のストレスやご家族の不安が大きかった。

＜入退院業務＞

- 救急病院・一般病院でケアマネジャーの来院制限があり、入院患者の状況を伝えることが困難となった。また、退院先の受け入れ制限などから退院調整がスムーズにできなかった。
- 回復病院・療養病院でも、入院患者の受け入れがどうしても慎重になっていた。
- 精神病院では、院外の施設で施設見学等の制限がある為、退院までに時間を要する状況。また、病床に外部者が入れない為、介護認定調査を延期してもらった場合もある。

29

29

まとめ2 【医療側】

＜終末期のアドバンス・ケア・プランニング（ACP）＞

- 患者の退院が延期となったり、面会制限になった事で病院や在宅での看取りに支障がみられた。

＜救急受入時の対応＞

- 治療終了後の受け入れ側の制限により、入院期間が延長し新型コロナウイルス感染症患者のベット数確保と一般入院のベット数確保で苦慮した。
- 受け入れ先の施設職員や家族に対しての新型コロナウイルス感染症の正しい知識や情報を発信していく必要がある。

＜その他＞

- 今後の第3波に備え、インターネット環境を整え、テレビ電話、リモート会議等の活用促進が求められる。

30

30

